

「農業技術の匠」： 千野 正雄さん（ 長野県長野市 ）
～ 高品質なももを多収穫できる斜立仕立の開発 ～



〔千野 正雄さん〕

1 技術確立の背景(目的)

ももの仕立方法は、2～3本の主枝による「開心自然形」が主流です。この仕立方法は落ち着いた樹づくりができる反面、北向きに出た枝の果実品質がやや劣る、主枝間のバランスがとりづらい、仕立方法が難しい等の課題がありました。

このため千野さんは、果実品質の高位平準化を目指し、南向きに一本の主幹を斜めに立ち上げる「斜立仕立」で、下部に亜主枝2本を置き、やや下向きの落ち着いた側枝を配置する樹形の改良に取り組みました。

2 技術概要(技術効果)

(1) 果実品質の向上

全ての主枝が南向きのため、果実品質が向上しました。

(2) 早期多収と省力化の実現

亜種枝を下段に配置し、早期多収と低樹高による省力化を実現しました。

(3) 生理落下等のトラブルが少ない

中短果枝主体の落ち着いたせん定手法のため、果実品質が良好で、生理落下等のトラブルを防ぐことができます。

3 技術の地域への活用状況(普及状況)

不要な新梢の芽欠き技術を開発し、むだな生長をさせず充実した新梢や果実が得られています。

また、本技術は、徒長枝の摘心による成り枝化と先端強化、日焼け防止への応用など、品質が高いもも生産の継続に必要な技術が盛り込まれています。

さらに、早期多収性があるため、新品種への更新にも有用な技術であるとともに、おいしい果実が安定して生産できるため、産地の品質向上に寄与する技術であります。

このため、既に長野県では多くの生産者がこの仕立を取り入れており、この仕立の効果を認めている生産者が多く、より一層の拡大が期待されます。

千野さんは、視察の受け入れ、関係機関の指導会の講師、他県への出張指導などを行い、県内外を問わず、技術の普及とももの生産振興に尽力されています。



〔ももの斜立仕立〕

※最寄りの普及指導センター { 長野県長野農業改良普及センター
住所：長野市大字南長野南県町686-1
(長野合同庁舎内)
TEL：026-233-5151

<「農業技術の匠」のポイント>

斜立仕立で高品質・早期多収

<もも斜立仕立による栽培体系別の技術ポイント>

作業名	斜立仕立における技術ポイント
整枝せん定	南向きに一本の主幹を斜めに立ち上げる仕立で、下部に垂主枝2本を置き、やや下向きの落ち着いた側枝を配置する。 ◎南向きで受光が良いため果実が揃い、糖度が高い。 ◎中短果枝利用のため樹勢が落ち着き、生理落果などトラブルが少ない。
施肥	従来と同様
土壌管理	従来と同様
かん水	従来と同様
病虫害防除	従来と同様だが樹形が均一で死角がないため防除効果は上がる
受粉管理	従来と同様だが低樹高、均一な樹形のため作業性が良好である。
着果管理	◎低樹高、均一な樹形のため作業性が良好である。 ◎中短果枝利用のため果実の揃いが良い。 ◎不要な新梢の除去を併せて行なうため、枝先まで勢力が届き、充実が良い。
収穫前管理	◎低樹高、均一な樹形のため作業性が良好である。 ◎受光体制が均一で、果実の着色などの揃いが良い。
袋掛け、除袋	◎低樹高、均一な樹形のため作業性が良好である。 ◎果実の玉揃いや除袋時の色の抜けが比較的揃っている。
収穫	◎低樹高、均一な樹形のため作業性が良好である。 ◎着色、果実の揃いが良い。 ◎熟度の揃いが良く、糖度が高い傾向である。



〔 ももの斜立仕立 〕



〔 着果状況 〕